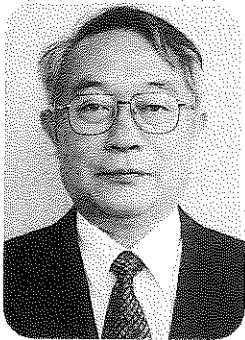


生徒に負けず元気に明るく



栃木県中学校長会
宇都宮市立泉が丘中学校
校長 犬塚 恒 士

今年の夏、本県で開催された関東中学校体育大会はバレーボールと相撲の2種目。その開会式で、各県の予選を勝ち抜き各都県の代表として整列した初々しさとともに誇りと自信そしてそれらが入り混じった凛々しさに満ちたさわやかな顔に出会うことができた。さらに、それらの大会を支えていた役員の中学生にも同じ表情を観ることができた。これらの表情は、県大会や地区大会、各種文化芸術コンクール、マロニエっ子フェスティバル（那須町）少年の主張等々での生徒の顔を重ね合わせることができる。彼等の表情から、日ごろの学校生活に如何に真剣に明るく取り組んでいるかを垣間見ることができる。また、その陰で教職員の日ごろの努力に敬意を表さずにいられない。

事にあたるとき、よく話に出されるのが十八史略等に出ている「創業と守成」の話である。

唐の太宗が、ある日次のようなことを群臣に尋ねた。「今、天下が落ちついてきたが、これまでのこと、これからのことを考えると、『創業』と『守成』どちらが困難なことであろうか。」これを聴いて並みいる群臣の中から、天下統一に大功をあげた一人が進み出て次のように述べた。「統一に向けて取り組んでいたころは、各地に群雄が並び立ち、山川草木を乗り越え、彼らを平定するのは実に大変な労力であった。そのことを考えると『創業』が大変な事業であるといえる。」これに対し、天下統一後の治世に尽力した臣下は、「いいや、不平不満の民をどうするか、法令の施行、税金の徴収、安定した国づくり、そして如何に体制を維持していくかなど

実は本当に大変なのは平定後の事業なのだ。」と述べたという。

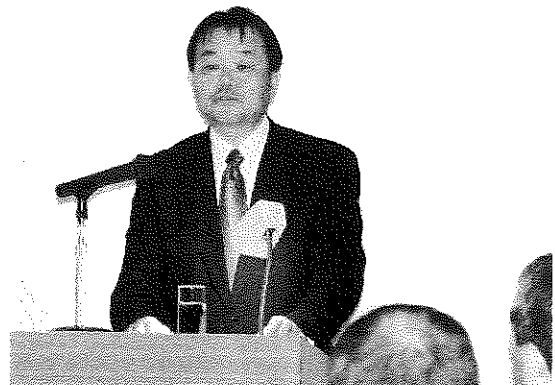
創業と守成いずれも大事業である。今、教育改革そして財政再建のもと様々な施策が展開されており学校への期待と責任も一段と大きなものがあるが、考えてみるとこれまでいつの時もそれぞれ困難に直面してきた。生徒指導を始めとして学校裁量の時間、土曜日の休業、総合的な学習の時間等々の導入などを乗り越え現在がある。

真剣に取り組む生徒に負けず明るく前向きに教職員と共に頑張りましょう。

事務局だより

平成18年5月18日(休)の県中学校長会総会において、規約・規定の一部改正と予算案が承認され、今年度より、役員として必要に応じて顧問を置くことができるようになりました。また、会費については研究大会運営基金と一般会費がそれぞれ2千円、合計4千円削減されることになりました。

なお、総会は、昨年度より代議員をもって構成することとなり、代議員として出席いただいた会員に感謝。



小山市校長会中学校班による発表

専門部活動計画

<p>総務部 部長 山市 隆 宇・一条中</p>	<p>第1回 平成18年6月20日(火) とちぎ青少年センター 県教育委員会との懇談会における提案事項の検討 県中学校長会の全会員の意見として集約、懇談会は8月7日の予定</p> <p>第2回 平成18年10月中旬 栃木県教育会館を予定 平成19年度運営方針の策定 多忙の折、文書及びメールのやりとりによる策定も視野にあり</p>
<p>研修部 部長 神長 利光 宇・姿川中</p>	<p>1 研究主題 未来を切り拓く心豊かでたくましい日本人を育てる中学校教育</p> <p>2 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第28回栃木県中学校長会研究大会(9/15(金)) ・栃木県中学校長会研修会(生涯生活について)(12/1(金)) ・研究集録の作成(2月配布予定) ・平成19年度研究主題及び重点研究課題の検討 ・研修部会の開催(延べ6回)
<p>広報部 部長 佐藤 哲夫 宇・旭中</p>	<p>○ 発行予定と主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・105号(平成18年9月発行) 会長挨拶、事務局だより、専門部活動計画、私の学校経営、新任校長の一言、トピックス(県教委指定研究学校等、全日中校長会編集「中学校」の内容紹介) ・106号(平成19年2月発行) 特集「中学校長への期待」、県教委との協議、県教委・県立高校との懇談会、各地区校長会だより、特色ある教育等、事務局より
<p>生徒指導部 部長 宗像 茂 河・田原中</p>	<p>1 県教委「本年度の重点課題」の解決についての協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ」の根絶を目指した予防的な取り組みと組織的な強化策 ・「暴力行為」「不登校」の要因・背景をふまえた適切な指導、援助の推進策 <p>(1) 各地区での取り組みの状況を調査する。</p> <p>(2) 各地区で取り組み中の事例等の発表、研究を進める。</p> <p>(3) 各地区相互で連携・協力して、部会後も資料、情報の交換をする。</p> <p>2 第1回部会研修会 平成18年10月16日(月) 栃木県教育会館</p>
<p>進路対策部 部長 板橋 正道 芳・大内中</p>	<p>平成18年度「中学校進路指導の的確な推進と高校入試等改善の提言」と研究主題を設定し、その達成を図るため、組織及び事業計画を決定した。</p> <p>平成18年度役員は、部長 板橋正道(芳・大内中)、副部長 松井洋三(塩・喜連川中)、阿部茂(佐・赤見中)と決定し、事業を推進する。また、事業計画は、第2回研修会を10月3日(火)栃木県総合教育センターで開催し、県教委並びに県立高校長会の懇談会について協議する。第3回研修会は10月19日(木)栃木県教育会館で県教委並びに県立高校長会との懇談会を実施する。</p>
<p>修学旅行部 部長 中山 一郎 宇・陽東中</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関東修学旅行委員会総会(東京) ○ 研究協議会(計4回) ○ 県修学旅行部会(教育会館) ○ 平成20年度修学旅行輸送申込み ○ 茨城・栃木県合同修学旅行研究協議 ○ 第42回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会(千葉流山市) ○ 「平成20年度修学旅行新幹線輸送計画書」配布

〔私の学校経営〕

栃木市立東陽中学校長 大橋 哲夫

「栃木県で1番いい学校にしよう。『勉強』、『あいさつ・清掃・部活動』に励もう。」と、呼び掛けたのは、赴任3年目、平成15年の始業式の時が最初でした。研究PTAの2年目、市指定人権教育研究の初年度として、生徒、教職員、保護者・地域に学校の努力の方向を端的に示したかったからです。

生徒には、毎日の学校生活に本気で取り組み、当たり前前の方が当たり前前のできる学校がいい学校であると規定して、前述の4つに全力投球することを強く期待しました。

教職員には、チャイム始業の徹底、欠席生徒への家庭訪問の励行、部毎の練習スタイルの確立を要求しました。保護者には、緊密な連携、就中、生徒を間にして「ありがとう」のキャッチボールができる関係を作りましょうと働きかけました。

現在、遅刻生徒ゼロで8時10分には静かに朝の読書に入っています。チャイムの始まりとともに椅子の音がして授業が始まっています。普通の学校生活がキチンと行われています。進学状況も改善の兆し。若干の成果ありと自己満足しています。

〔新任校長の一言〕

宇都宮市立宝木中学校長 岩崎 研一

着任から早4か月、この間、先輩校長先生をはじめ様々な方より励ましをいただき、心強く感じているところです。職場でも、教頭先生をはじめ諸先生方による、生徒への指導の前向きな取り組みのおかげで、充実した日々を送らせていただいています。

私自身、4名の校長先生に任せ、いろいろなことを学ばせていただきました。教師はかくあるべきと思わせる教育愛に満ちたご指導。細やかな指導と最後まで見届ける気配り・心配り。生徒の良いところを見つけ伸ばしていこうという姿勢。生徒とともに汗を流し、向上することを目指す姿など、それぞれの校長先生の経営理念には感服させられました。どれをとっても今の自分に大切な教えであります。

現在、前校長の経営方針を受け、学校経営を進めているところですが、先生方が意欲を持って仕事ができるよう配慮することが、今、私のやるべきことだと思っています。常に先生方一人一人の専門性と持ち味を生かした指導により、生徒が生き生きと活動し、

達成感と充実感を味わえる学校を目指していきたいと思っています。

足利市立富田中学校長 高橋 フミ子

同校昇格で校長になりました。いざなってみると戸惑うことばかりでした。

その一つに「校長のあいさつ」があります。校長あいさつは校長の考え、学校教育活動の方向付け等を伝える大切な機会と捉えています。印刷して教職員に配布している先輩校長もおられます。それだけにいいかげんな話ではできないとプレッシャーを感じています。

悩んだ末、始業式では吉田松陰の「夢なきものに理想なし。理想なきものに計画なし。」の言葉を引用しました。この言葉は自分自身に対する言葉でもあります。「どんな学校にしたいのか」のビジョンなき校長に学校経営はできないと思っているからです。子どもたちには少し難しかったことが表情から読み取れました。どんなに立派なことを話しても、理解してもらえないのなら意味がありません。

前校長は始業式で「目標のない生活はハンドルのない車のようなものです。」と話されました。子どもたちは1年経ってからもすっかり覚えていました。すばらしい表現だと改めて感心しました。

子どもたちの心に響くあいさつになるように、今心がけていることは次の4点です。

- ・時間内で話を終了すること。
- ・わかりやすい言葉で話すこと。
- ・自分でもできそうなことも話すこと。
- ・借りものでない自分の言葉で話すこと。

ハンドルのない学校にしないためにも、新聞や雑誌に目を通すことも忘れないようにしたいと思います。

日光市立中宮祠中学校長 星 リエ子

男体山・中禅寺湖・華厳の滝と山紫水明が揃った歴史のある地での勤務も4ヶ月が過ぎました。

小中学校併設校ならではの小中学生一緒の始業式そして、2回行った入学式等、新任の私にとってはどれも緊張の連続でした。でも、一つ一つの行事を進めていく中で、子どもたちや職員、保護者、地域の中に少しずつ自分がとけ込んでいくことを実感しました。そして、校長としての責任の重さも強く感じました。

少人数の学校では、授業でも、部活動でも、一人一人がそれぞれの存在感を十分に発揮して活動をしています。大規模校だから小規模校だからという違いを感じさせない、生徒の素直な生き生きとした力強さを感じます。このような生徒の姿からも、学校は、生徒一人一人と真剣に向き合った教育を進めなければならないと考えています。

トピックス

県教委指定研究学校等から — 中学校関係抜粋 —

文部科学省関係

No.	研究領域	地区	指定校名	指定年度
1	学力向上拠点形成事業	河内	宇都宮市立一条中学校	H17・18
2		上都賀	鹿沼市立栗野中学校	
3		芳賀	芳賀町立芳賀中学校	
4		下都賀	小山市立豊田中学校	
5		塩谷	さくら市立喜連川中学校	
6		那須	大田原市立川西中学校	
7		南那須	那須烏山市立烏山中学校	
8		安足	佐野市立赤見中学校	
1	児童生徒の心に響く道徳教育推進事業—命を大切に作る心を育む教育の推進に関する研究—	芳賀	二宮町立久下田中学校	H17・18
2		下都賀	藤岡町立藤岡第一中学校 藤岡町立藤岡第二中学校	H17・18
1	豊かな体験活動推進事業（長期宿泊体験）	河内	上三川町立明治中学校	H18・19
2		上都賀	鹿沼市立北犬飼中学校	
3		安足	佐野市立城東中学校	
4	伝え合う力を養う調査研究	下都賀	小山市立絹中学校	H17・18

国立教育政策研究所関係

No.	研究領域	地区	指定校名	指定年度
1	教育課程研究指定校事業	下都賀	都賀町立都賀中学校	H17・18
1	我が国の伝統文化を尊重する教育に関する実践モデル事業			H18・19

研究開発学校

No.	研究領域	地区	指定校名	指定年度
1	研究開発学校	下都賀	栃木市立皆川中学校	H17～19

「中学校」 年間テーマ『未来を拓く学校づくり』（全日中機関誌掲載予定）

月	特集主題	主な内容
9	教育課程の工夫、改善	①総合的な学習の時間の改善 ②職業体験活動の在り方 ③小中連携の教育課程
10	役員研修会特集	
11	行政施策と学校経営	①学区の弾力化 ②二学期制 ③教育特区の現状
12	健全育成の取り組み	①変化する生徒への対応 ②保護者との連携 ③不登校問題の推移
1	研究協議会北海道（富良野）大会特集	
2	新たな学校体制づくり	①特別支援教育の本格実施に向けて ②学校図書館運営の在り方 ③学校における食育の在り方
3	部活動と学校経営	①部活動と学校経営 ②社会教育への移行 ③諸課題への対応